

# 富山市総合計画審議会「第3回 活力・交流部会」 議事録

日時：2016年9月28日（水）10:00～11:45

場所：富山市役所 801 会議室

出席者：（順不同）

長尾治明	富山国際大学現代社会学部現代社会学科教授（部会長）
庵栄伸	一版社団法人富山県銀行協会会長
鵜殿裕	株式会社日本政策投資銀行富山事務所所長
桑山比呂志	日本労働組合総連合会富山県連合会富山地域協議会議長
酒井富夫	富山大学極東地域研究センター教授
平井丈夫	大山地域自治振興会連合会会長
渡辺孝子	公募委員

企画管理部	本田部長、中田次長、西田次長、前田参事、井村主幹
農林水産部	松島次長
商工労働部	太田次長
都市整備部	酒井次長
教育委員会	島次長

議事内容：

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 第2次富山市総合計画前期基本計画（案）について

○資料「第2次富山市総合計画前期基本計画（案）」に基づき事務局より説明。

部会長

- ・ どなたからでも結構だが、お気づきの点、感想等について忌憚のないご意見をいただきたい。

委員

- ・ 農業振興は必要だが、農村の振興という観点が抜けている。コンパクトシティが富山市の中心理念になっているが、「団子と串」の「団子」に当たる部分について、どういった農村を作っていくのか、農村を具体的にどのように振興していくのかというイメージが必要ではないか。中心都市とは違う、住んでみたいと思えるような地域の像が必要である。例えば、自然エネルギーなどを活用して都市と農村の機能を回していくという考え方もあるし、農村ならではの自然型の生活や農福連携などに取り組む事業者を育成していくという考え方もある。農地や林地を活かした生活スタイルをもっとしっかりと主張し、「富山市ではこんな暮らしもできるのだ」ということをアピールしてほしい。
- ・ 147 ページに「強い農林水産業」という記述があるが、何をもって「強い農林水産業」と定義するかが重要である。総合計画として様々な分野の事業が記載されているが、どこまで本気でやるのか

が分からない。大規模化してコストを下げれば農林水産業は強くなるのかと言うと、必ずしもそうではない。すでにやれるところまでやっているという感じもする。上越市が典型的な例だが、1～2ha規模での整備は確かにコストダウンに寄与するが、それが果たしてどれだけの効果を生み出しているかということはしっかりと検証すべきである。

- ・ 「強い農林水産業」の一つには高付加価値化があると思うが、富山市には県内でも有数の有機農業の集積地となっている。有機農業で競争力を持てるのかというと単純な話ではないが、地産地消を含めてコストダウン以外の路線も考える必要がある。142 ページにはコミュニティビジネスに関する言及があるが、農業分野でもコミュニティビジネス型の経営形態が出始めている。そういった農業の形態についてもしっかりと位置づけて考える必要があるだろう。
- ・ 農村や農業においては、人の確保が最も大きな問題になっている。農家数がものすごい勢いで減少しており、新規就農を含めて次世代への引継ぎを考えなければならない。富山市よりも条件の悪い島根県でも様々なアピールや取り組みが行われているが、農業や農村の魅力を伸ばすことによって、東京圏などから若い人を集めることも重要である。
- ・ 観光の分野では、韓国からの直行便が LCC になってしまったことが気になっている。昨今韓国からの観光客数が伸びてきているようだが、将来的に韓国からの直行便が運休となる可能性もある。どちらかと言えば富山県が取り組むべきことだろうが、直行便を確保するような施策も必要ではないか。富山市として要望を出すことも必要だと思う。
- ・ 169 ページに文化財についての言及がある。市内には様々な文化財があるが、富山市の歴史を学べる博物館や歴史館がないことを残念に思っている。ガラス美術館も良いが、博物館や歴史館のような施設も整備してほしい。

#### 部会長

- ・ 農村との連携についてご発言があったが、コンパクトシティの視点から農村の今後のあり方をしっかり書くべきではないかと思う。

#### 委員

- ・ 141 ページに「産業ロボット等のイノベーション技術の導入を支援し、製造業や農業分野において労働生産性の向上を目指します」という記述があるが、介護分野についてもロボットの活用が進んでいる。介護ロボットや介助用ロボットについても言及いただくと良いのではないか。
- ・ 142 ページの総合計画事業概要に「商業振興活性化プランの改訂」や「工業振興ビジョン改訂」が挙げられているが、この事業内容はどのようなものか教えていただきたい。

#### 事務局

- 「商業振興活性化プラン」は事業者の方々への支援、商店街の支援など、商業全体の活性化に向けて市がどういった取り組みを行っていくべきかまとめたものである。また、「工業振興ビジョン」は企業団地の造成などをどういった方針で進めていくべきかをまとめたものである。

#### 委員

- ・ 現在総合計画で示されている方向性に基づき策定されるプランということか。

#### 事務局

- そのとおりである。

#### 委員

- ・ 漁業について、担い手となる労働人口等の状況が見えにくいように思う。漁業がどのような問題を抱えているのかは把握しておく必要がないか。
- ・ 167 ページの「勤労者福祉の向上」の現状と課題において、「雇用環境の変化や価値観が多様化する中、勤労者がゆとりと豊かさを実感できるよう、勤労者福利厚生事業の充実を図る必要があります」とあるが、これは福祉分野というよりも仕事と家庭の両立に関係する記述ではないか。
- ・ 156 ページに富山駅の記載があるが、富山駅には南北一体化に向けた計画もある。計画期間内に竣工するのか分からないが、富山を拠点とした広域観光の推進の中に、そうした計画についても記載いただくと良いのではないか。
- ・ 全体的にとっても細かなところまで事業を記載いただいている。5年間で全て行うことは難しいようにも感じた。優先順位をつけて取り組まなければならない部分もあるように思うが、そういった点についてはどのように考えているのか。

#### 事務局

- 毎年の予算編成に合わせて個別の実施計画を策定するが、その実施計画の中でその年の事業の取捨選択を含め、検討を行うこととしている。
- 優先順位についてはリーディングプロジェクトとして優先的に取り組む分野を示している。あくまでも予算があって取り組むものであり、毎年の予算編成とともに見直しを図っていくことになる。

#### 委員

- ・ 167 ページの記載については解釈の問題でもあり、今のままでも良い。

#### 事務局

- 酒井先生のご発言のとおり、日本中の農業が疲弊している。ハードな部分で必要な取組もあるが、最終的には人の確保、そして村の活性化や地域の活性化につなげていくことが必要だと感じている。現在酒井先生にもご協力いただきながら「富山市農林漁業振興計画」を策定中であり、その中でも改めて検討させていただきたい。
- 富山市には3つの漁港がある。今回は網谷先生が欠席のため、詳細について述べるのが難しいが、漁港の整備は随時市が支援を行っており、今後も漁協からの要望があれば対応をしていきたい。

#### 委員

- ・ 「富山市農林漁業振興計画」とつなげて検討させていただきたい。
- ・ 「強い農林水産業」にもつながると思うが、富山市として海外輸出は検討しないのか。例えば砺波市では球根の輸出に取り組んでいる。富山市でも看板になるような品目を絞って輸出に向けて取り組むことはできないか。アジアは中間層のボリュームが大きく、物によっては売れるかもしれない。

#### 事務局

- 現時点では考えていないが、薬用植物の輸出は考えられるかもしれない。エゴマやトウキなどの品目が輸出に値するものなのか、アジアに向けて供給可能かどうかも見極めながら今後検討していきたい。

#### 委員

- ・ 海外輸出などについて記載いただくと、インパクトのある計画になるのではないか。

## 事務局

- ▶ エゴマは輸出品目の候補になるかもしれない。廃熱を活かしたスマートエネルギー、エゴマを活用した農業活性化など、文章としての書き込みについては検討したい。

## 部会長

- ・ 介護ロボットや富山駅の南北一体化についても記載いただくと良いのではないかと。

## 事務局

- ▶ 介護ロボットに対する指摘はそのとおりで、記載したいと思う。
- ▶ 富山駅の整備には南北が統一したにぎわいづくりという側面もある。記載した方が良いと思う。

## 委員

- ・ 168 ページに二地域居住やマルチハビテーションの推進が挙げられているが、富山市内の校区間交流についても考える必要があるのではないかと。富山市では全校区にふるさとづくり推進協議会が設置されている。校区ごとの取り組みを紹介し合うコミュニティフォーラムも開催されており、フォーラムをきっかけに山間部と海岸部の間での交流に取り組み始めた事例もあると聞いている。
- ・ 各校区での取り組みを展示するなど、校区同士の交流を促進するような施策についても検討いただくと良いのではないかと。

## 事務局

- ▶ 協働・連携の中でもコミュニティの強化、公民館活動等を通じたコミュニティの醸成についての言及がある。どこの分野で対応するかは要検討だが、ご指摘をいただいた点については検討させていただきたい。

## 委員

- ・ 139 ページにあるように、活力・交流分野は労働生産性の向上と付加価値の高い産業の推進が前提になると思う。そうした点を踏まえると、172 ページの「「ガラスの街とやま」の推進」の中で、産業化の推進が盛り込まれていることは面白いと思った。
- ・ 156 ページの「広域・滞在型観光の推進」において様々な取り組みが挙げられているが、こちらにも観光を産業として育てていくということを一文入れていただくと良いのではないかと。
- ・ 余談だが、富山インキュベータオフィスがもう少し豪華になると良いと思っている。県のインキュベーション施設は郊外にあるので、市の施設が街中にあることは非常に良いと思う。大阪のナレッジキャピタルとまではいかないが、施設を訪れた人が「起業したい」と思えるような施設になると良い。

## 部会長

- ・ 工業技術センターに導入されている最新型の設備に対し、県外から視察が多く訪れており、観光需要にもつながっているという話を聞いている。東京圏の施設では順番待ちになってしまうため、富山市の方が視察をしやすいということだ。こういったこととの連携も必要だろう。
- ・ 単に「観光客がたくさん来て良かった」ということに留まらず、観光がビジネスになるということを意識して施策を検討する必要がある。

## 委員

- ・ 活力・交流の分野では「努めます」という表現が非常に多く、富山市として取り組みたいのかそうでないのかよく分からず、とりあえず書いてあるという印象を受ける。富山市として本当に注力し

たい部分がどこなのかを示していただけると、産業界としても連携がしやすくなる。

- ・ 多くの企業では65歳で退職する。技術やノウハウを持っているにも関わらず、退職した後は孫の世話をして暮らしているような人も少なくない。真剣にシルバー人材の活用を検討してはどうか。高齢者の生きがいや雇用のミスマッチ解消にもつながる。「市役所内のセンターで相談を受け付けます」ということで終わらず、例えば「富山市としてシルバー人材に全員登録してもらいます」といった方向性の打ち出しをされてはどうか。
- ・ 金融機関のお客様の中には会計士や税理士を頼りにされている方が多い。中小企業支援では会計士や税理士を巻き込むとうまくいくケースが多い。計画の中に書き込む必要はないと思うが、会計士や税理士との連携については、実際の事業の中で検討していただきたい。
- ・ 観光については、「北陸三県をテーマとした交流人口の増大を狙う」と宣言してはどうか。富山市だけで取り組んでいても観光需要は増えないのではないか。
- ・ 富山薬膳や富山ブランドについての記載があるが、「この5年間は富山薬膳に賭けるんだ」という思い入れを持って予算を検討いただきたい。前期計画としてのチャレンジングな目玉を作り、「ただ書いてあるだけ」ということにならないようにしてほしい。

#### 事務局

- 富山薬膳については市長からもレベルの高いものにするよう言われており、アピールできるものを作っていきたいと考えている。

#### 部会長

- ・ 北陸三県での広域観光について意見をいただいたが、観光客は行政単位で動くわけではない。富山市の中だけで考えると観光消費は拡大しないだろう。
- ・ 人材に関して、相談窓口を設けておくことも重要だと思うが、女性やシルバー人材を活用した新しい事業や新商品の開発など、もう少し踏み込んで書いていただくと良いと思う。

#### 事務局

- 市長からの指示もあり、65歳以上のシルバー人材を活用したまちづくりについて、この4月からタスクフォースを組んで検討を行ってきた。もう少し前向きな姿勢が伝わるよう、記載内容について検討したい。
- 5年前は環境未来都市に着手し始めた頃だった。今期は行政直営としての事業よりも民間企業とのコンソーシアムをどれほど構築できるかが重要になってきている。地方創生交付金も活用しながら官民連携事業に取り組んでいるところであり、こうした動きは今期新しく取り組むことだと考えている。
- 国際貢献の分野では JICA 事業など様々な支援制度を活用しながら東南アジアとの自然エネルギーの活用などを進めているところである。一見市民生活には関係がないようにも見られてしまうかもしれないが、市民に理解いただけるような成果となるよう取り組んでいきたい。

#### 委員

- ・ 富山市では様々な施設整備を進めようとしている。市長には「民間でファンドを組んで資金を調達する方法もある」と進言しているが、補助金を取ってくるのが非常に上手で、なかなか産業界の出番がない。市民からすると一番良い方法と納得しているが、連携できる部分があれば連携していきたい。

## 委員

- ・ 地元中学校の夏休みの自主研究発表会に行った際、発表テーマが「富山県を代表する黒部ダムの研究」ということで残念な思いをしたことがある。貯水量から言っても富山県を代表するダムは有峰ダムである。有峰ダムで発電された電気は富山県内で使用されているし、富山市の豊かな水は有峰ダムのおかげだと考えている。富山市民や富山県民にとって有峰ダムは大きな存在のはずだが、認知度が非常に低く残念に思っている。観光開発の観点からも、有峰ダムを富山市の象徴として位置づけていただけないか。

## 委員

- ・ 159 ページに「富山食材とイタリア料理とのコラボレーションによる新たな食文化の創造」とあるが、何か取り組まれる予定があるのか。

### 事務局

- すでにイタリア料理とのコラボレーションに取り組んでおり、今後一層取り組みを展開していきたいと考えている。
- 富山市内には 40 軒以上のイタリアンレストランがある。イタリア大使館の方も新鮮な富山食材に感銘を受けられたと聞いている。

## 部会長

- ・ 今のような経緯についても計画の中に記載いただくと良いのではないかと。現在のような書き方では、「フランス料理はだめなのか」という意見も出てくるかもしれない。

## 委員

- ・ 各施策に「市民に求めること」が書いてあるが、全て求められると市民は息苦しく感じてしまうのではないかと。全体的に共助を強く求められているように感じるが、参加するごとにポイントを付与してもらえなど、参加することに意味を感じられるような仕組みがあると良いのではないかと。

## 部会長

- ・ 「市民に求めること」の中には、消費者に期待する部分、事業者に期待する部分など、カテゴリーによって様々な内容が含まれている。今一度整理いただくと分かりやすいのではないかと。

### 事務局

- 表現も含め、検討したい。

## 部会長

- ・ 「市民に求めること」に関連して、市民がどのように取り組めばよいのか考える際の参考となるように、どのような支援策があるのかということについても参考資料で明記いただくと良いのではないかと。

### 事務局

- 支援策については予算による部分も大きくどこまで書き込めるか分からないが、検討したい。

## 部会長

- ・ 理念として記載いただければ良いと思う。
- ・ 計画の中で雇用機会の創出については記載があるが、働き方の質的な変化や働き方の多様性についてテーマを付け加えていただけないか。
- ・ 活発なご意見をいただいたので、事務局で検討していただければと思う。

**事務局**

- 次回は10月27日（木）14:00～の開催を予定している。後日改めてご案内する。

以上